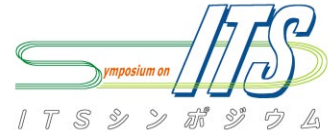


第 21 回 ITS シンポジウム 2023

2023 年 12 月 7 日(木)～8 日(金)

富山国際会議場 <https://www.ticc.co.jp/>



Call for Papers

テーマ：持続可能で活力あるまちづくりを支える ITS ～デジタル活用によるリアルな移動の質向上～

地方が直面する人口減少は、地域の公共交通や医療など、暮らしに不可欠な生活サービスの利便性を低下させ、その基盤が崩壊する危機に直面している。特に、地域公共交通は、人口減少に加え、コロナ禍において経営状況が悪化し、その維持が困難となることが想定され、通学や買い物、医療・福祉施設へのアクセス等に不可欠な地域の足の確保に向け、抜本的な対策の強化が求められている。これらの課題を克服するために、データ連携基盤やデジタル技術が核となるデジタル田園都市国家構想が提唱され、地方における仕事の創出、暮らしの向上、持続可能性の向上、Well-being の増大などを通して、スマートシティ、「デジ活」中山間地域、SDGs 未来都市、脱炭素先行地域などの構想実現が期待されている。

コンパクトシティ戦略で先導的な取組を実施している富山市は、旧 JR 富山港線の LRT 化、市内電車環状線化の実現や南北接続など LRT を核とした交通ネットワークの形成により、過度に車に依存したライフスタイルを見直し、ウォークアブルなまちの実現を目指しており、北陸新幹線の開業と併せて富山駅周辺地区の一体的なまちづくりを推進している。そこで、地方都市でありながら様々な取り組みを推進している SDGs 未来都市富山の地において、デジタル活用による次代のリアルな移動の質向上を目指すために、持続可能で活力あるまちづくりを支える ITS が果たす役割について、シンポジウム参加者と共に考えたい。

投稿時に「査読あり」「査読なし」のいずれかをお選びください。査読ありを希望され、採択された論文は International Journal of Intelligent Transportation Systems Research (IJIT)^{*1}に掲載されます。

●査読あり

(1) 提出期限：6月1日(木)

(2) 提出物： A4 サイズ 10 ページ以内のフルペーパー。使用言語は英語のみとします。
指定のフォーマットに従って作成してください。

フォーマットは https://www.its-jp.org/katsudou/its_symposium/21st2023/cfp/ に掲載します。

(3) 提出先： IJIT 投稿サイト： <http://www.editorialmanager.com/ijit/> Article Type は ITS Symposium を選択してください。

(4) 結果通知： ジャーナルの採否結果は 10 月末にご連絡する予定です。採択論文は、ジャーナル通常号の論文として取り扱われます。この時点までに採用に至らなかった論文は引き続き査読を受けることができ、最終的に採択に至った場合にはジャーナルに掲載されます。

(5) 発表： 上記の採否に関わらずシンポジウムでの発表を必須とします。対話セッション(ポスターセッション)でご発表いただきます^{*3}。

(6) シンポジウムにおける論文掲載： ジャーナルに投稿された論文のプレプリントをウェブに掲載させていただきます。

●査読なし

(1) 提出期限：8月21日(月)

(2) 提出方法： 250 字程度のアブストラクト。使用言語は日本語または英語。

(3) 提出先： https://www.its-jp.org/katsudou/its_symposium/21st2023/cfp/ でご登録ください。

(4) 結果通知： 9 月下旬

(5) 最終原稿： 11 月 6 日(月)までにウェブサイト掲載用の A4 サイズ 6 ページ以内のフルペーパーをご提出いただきます。

(6) 発表： 採用された論文は対話セッション(ポスターセッション)でご発表いただきます^{*2}。

人を対象とする研究においては研究対象者の尊厳および人権を尊重するとともに、被験者の生命・健康・安全の確保に配慮しなければなりません。研究対象者に係るデータや情報は適切に扱い、プライバシーを保護するとともに、被験者からインフォームド・コンセントを得なければなりません。また、研究を計画、実施するにあたっては所属機関等の倫理委員会の承認を得ることが必要です。

*1 International Journal of Intelligent Transportation Systems Research: <https://www.springer.com/journal/13177>

*2 基本言語は日本語ですが、海外の方は英語可とします。

■スケジュール（予定）

●査読あり

フルペーパー投稿締切	6月1日
1次判定結果通知	7月末
修正論文提出	8月末
ジャーナル採否通知	10月末
ジャーナル論文掲載	採用後順次
プレプリント公開	11月27日

●査読なし

アブストラクト投稿締切	8月21日
採否通知	9月下旬
掲載用最終稿提出	11月6日
発表資料提出	11月中旬
論文公開	11月27日

■参加登録料

タイプ	11月30日まで		12月1日より	
	会員	非会員	会員	非会員
聴講	一般	15,000円	18,000円	23,000円
	学生	3,000円		
論文発表	一般	15,000円		
	学生	8,000円		

※ジャーナル掲載のための掲載料は廃止いたしました。査読あり・なしの別なく、上記の登録料で論文をご発表いただけます。

■募集する論文の分野

A. Challenges and Opportunities of Big Open Data

Open data management and application
Data sharing and exchange
Ubiquitous sensing
Technology for data collection
Availability and quality of data
Data visualisation
Data fusion
Predictive analytics
New business models for traveller information
Security in an open environment

B. Smart Cities and New Urban Mobility

Integrated transport system
Next generation traffic management
Transport modelling
Road user charging
Travel demand management
Integrated ticketing and payment
Incident management

C. Automated Vehicles and Cooperative ITS

V2X Communication technologies and Cooperative systems
Human factors and human machine interface
Field operational tests, pilots and demonstrations
Positioning, mapping and navigation
Security and integrity for connected and automated vehicles
Mobility as a service - a transport revolution?
Infrastructure and regulation needs for a mixed-capability fleet

D. Mobile Applications

Multi modal real time information
Multi modal journey planner
Demand responsive public transport
Taxi and parking reservation
Real time traffic advisory

E. Vehicle and Network Safety

Speed advice and restriction
Technology and system for safety and enforcement
Advanced driver assistance and support systems
Human factors
Emergency pre-emption and notification
Post-crash response
Improving safety of vulnerable road users
e-call
Roadwork safety and inclement weather management
Preventative and active safety systems

F. Future Freight including Aviation and Maritime

Freight and fleet management
Logistics
Railway network operation
Unmanned aerial vehicles (UAS / RPAS / Drones)

G. Environmental Sustainability

Environmental impact reduction
Electro mobility and charging
Eco driving
Reducing noise
Car sharing, bicycle sharing and ride sharing
Encouraging active transport and mode shift

■第21回 ITS シンポジウム 2023

主催： 特定非営利活動法人 ITS Japan

共催： 富山大学

協賛(予定)： 計測自動制御学会, 交通工学研究会, 自動車技術会, 情報処理学会, 人工知能学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本機械学会, 日本交通心理学会, 日本ロボット学会, 自動車技術会モビリティ社会部門委員会, 情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会, 情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会, 電気学会 ITS 技術委員会, 電子情報通信学会 ITS 研究会

実行委員長 齋藤 滋 富山大学 学長

プログラム委員長 堀田裕弘 富山大学 学術研究部都市デザイン学系 教授

プログラム委員会： 浅野周平 (福井大学), 安藤孝幸 (愛知製鋼株式会社), 猪井博登 (富山大学), 大西宏治 (富山大学), 川本義海 (福井大学), 倉内文孝 (東海国立大学機構岐阜大学), 杉町敏之 (東京都市大学), 高橋敬宗 (NiX JAPAN 株式会社), 玉井久嗣 (NiX JAPAN 株式会社), 塚田学 (東京大学), 土屋泰樹 (富山大学), 外山友里絵 (株式会社三菱総合研究所), 中山晶一郎 (金沢大学), 野澤孝之 (富山大学), 藤生慎 (金沢大学), 本田豊 (富山大学), 保田俊行 (富山大学), 米陀佳祐 (金沢大学)

問合せ先： ITS Japan 井出 h-ide@its-jp.org